

アメリカ・シラキュース大学 留学報告書

学部学科・研究科専攻	工学部電気電子工学学科		留学時学年	3 年
留 学 先	国	アメリカ	大学	シラキュース大学
期 間	2024 年 8 月 23 日 ~ 2025 年 3 月 21 日			
	長期		計 8 ヶ月	

[1] 参加した語学コースの時間数／科目名（受講科目・複数可）

- ・授業時間数：月～木 3 科目、金 2 科目
- ・科 目 名：Oral, Text, Accuracy

時 間	月	火	水	木	金	土	日
8：45～10：15	○	○	○	○	○	Free	Free
10：30～12：00	○	○	○	○	○	Free	Free
13：15～14：45	○	○	○	○	Free	Free	Free

[2] 授業内容について教えてください。

（クラス人数、国籍割合、担当の先生、授業方法、使用教材等）

クラス人数は 10 人前後で、アジア（主に中国や韓国）出身の学生が中心でした。それ以外にもカザフスタン、ウクライナ、ブラジル、ドイツ出身の学生も数人いました。担当は ELL のネイティブの先生で、授業は教科書を中心に進められました。頻繁に小テスト、プレゼン、エッセイなどがあり、少人数のグループディスカッションも頻繁に行われました。

[3] 課外活動・研修旅行・余暇の過ごし方について教えてください。

秋・冬セメスターでは Campus Connect という団体に所属し、毎週木曜日には料理の準備や実施を通じて積極的に活動していました。宿題が終わった後は、カフェやジムに行ったり、友人との交流を楽しんだりすることでリフレッシュしていました。学業と課外活動・リラクゼーションのバランスは 2：8 で、充実した日々を送っていました。

春セメスターでは英語資格試験の対策に集中し、ほとんどの時間を学習に充てていました。学習とリフレッシュのバランスは 8：2 で、週に一度は気分転換の時間を作り、友人と過ごすことで心身のバランスを保っていました。

Thanks Giving、Winter、Spring Break の各休暇期間には、友人と旅行に出かけ、アメリカ文化を体感する貴重な機会となりました。

アメリカ・シラキュース大学 留学報告書

[4] 派遣先でよく使った施設について教えてください。(図書館、学生会館、スポーツ施設等)

図書館、Student Center、ジム、クライミング施設、e-Sports ルームをよく利用していました。

[5] 宿舎（寮やホームステイ）での生活について教えてください。

部屋：1 部屋 2 人で使用

様子：ベネズエラ出身のバレダンサーのルームメイトと 2 人でシェアルームでした。2 階建ての 3 人部屋構造でしたが、私たちは 2 人で使用していたため、それぞれに専用のバスルームがあり、とても快適でした。ルームメイトとのトラブルもなく、お互いを尊重して過ごしていました。寮の自室には窓がなく朝でも暗いため、朝起きるのが大変でした。

[6] 留学中に楽しかったこと、苦労したことを教えてください。

- **楽しかったこと**：Campus Connect という団体の秘書とイベントコーディネーターとして活動し、さまざまなイベントを企画・実行できたのはとても楽しかったです。また、友達と多くのカフェを訪れてバリスタに顔を覚えられたことも印象的でした。他の東部の街を旅行して観光したことも、アメリカ文化を深く理解する助けになりました。
- **苦労したこと**：完全夜型で遅くまで勉強する私にとって苦労したのは、朝起きられないことです。英語よりもこの点に苦労するとは思いませんでした。寮の自室には窓がなく、朝でも真っ暗です。シラキュースの冬は日照時間が短いため、ビタミン D のサプリメントや人工太陽目覚まし時計を使うことで対処しました。今では大切なアイテムとなっています。語学面では、中上級者の段階に入り、初級から中級過程の伸びと比べ、成長の実感が得にくい停滞期を感じましたが、それをスランプと捉えず英語習得の旅と捉え、前向きに取り組みました。

[7] 留学の成果について教えてください

1) 語学力の向上：

会話における語彙の選択やイディオムを用いた表現力がさらに向上しました。文法の理解や複雑な文構造の把握能力も向上したと感じています。特に何かが劇的に伸びたというより、今までの英語力が全体的に洗練されたと実感しています。多言語学習に終わりはないため、シラキュースに行ったとしても、私の英語はまだからです。今後も継続して学んでいく意欲が高まりました。

2) 専門知識の向上：

語学留学だったため、専攻分野の専門知識の向上は特にありませんでした。ただし、友人の天文学のオープン授業に参加し、簡単な天文学の知識を得ることができました。また、多言語話者の友人との交流や言語習得法の共有を通して、新たな多言語習得アプローチを脳科学の観点から論理的に構築し、プレゼンも行いました。

アメリカ・シラキュース大学 留学報告書

3) 自己成長など：

多様なキャリア背景を持つ友人との交流を通じて、自分の意思で納得できる選択をする大切さを再認識しました。ボストンキャリアフォーラムにも参加し、将来の目標を明確化することができました。「これがやりたい」「ここに住みたい」など、自分の気持ちにさらに正直に向き合えるようになったのは大きな成長です。

[8] 来年度に留学を希望する学生へのアドバイスをお願いします！

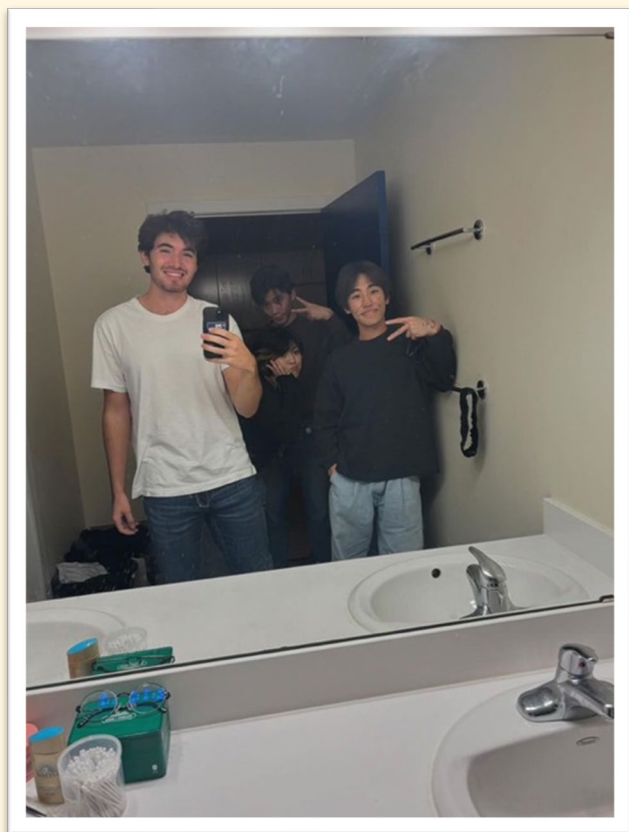
100 人が夢を抱き、10 人が行動し、1 人が成し遂げると言われるように、継続は難しいことです。ですが、今この報告書を読んでいるあなたは、すでに第一歩を踏み出しています。人生=有限時間の最適配分です。そして留学も限られた時間の中で得られる非常に貴重な経験です。迷っているなら、まずは一歩を踏み出してみてください。どんどん見切り発車しましょう！

[9] 留学に関する費用の総額について内訳を教えてください。

項目※詳しく記入して下さい	金額（当時の日本円）
渡航費（旅行会社に支払った経費）	40 万
授業料以外の諸経費（教材費・課外活動・保険料等）	25 万
私生活における諸経費（食費・交通費・洗濯費等）	60 万
奨学金（個人的な奨学金）*	-100 万
お土産代や個人的な買い物、旅行	100 万
その他（寮費）	150 万
留学に関する費用の総額	275 万(*抜き)

換算：\$1=160yen

海外派遣留学生
アメリカ・シラキュース大学
留学報告書



海外派遣留学生
アメリカ・シラキュース大学
留学報告書

